

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル実務 I		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(80時間)	必須	神内朋, 藤嶋
授業の概要				
ブライダル業務に必要なスキルについて学ぶ。 ブライダルコーディネーターの仕事内容についての理解を深める。 ロールプレイングを通し、実際の打ち合わせや接客方法について詳しく学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
1. ブライダルコーディネーターが行う一連の業務を理解する。 2. 結婚式の打合せに必要な知識や、お客様への案内方法を身につける。 3. 自分の식을プレゼンし、プレゼンテーション力を養う。 4. オリジナルウエディングの演出の提案、プランの組み立てができる。 5. お客様獲得につながる効果的な接客方法を身につける。 6. 検定問題になれる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		神内朋子：コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。国家検定の試験官も務めており、これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。 藤嶋愛：ブライダルプランナーとして6年間の実務経験あり。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	第2章 ブライダル市場	市場、市場規模、推移 六輝		
2	ブライダルマーケット	総費用・人数 婚礼施設を取り巻くビジネス 婚約結納		
3	L3 ブライダルの基礎	見合いと婚約 結納・婚約式		
4	接客に必要なスキル	接客の基本について 必要なスキル・接客の入り方		
5	新規接客業務	会場決定までのプロセス 新規接客		
6	ヒューマンスキル	仮予約から申し込みまでの手続き コミュニケーション		
7		アイスブレイク クロージング		
8	グループワーク	アンケート作成 新規接客 アンケートからの引き出し接客		
9	映像から学ぶ新規接客	ロープレを見ながら、接客対応方法を考える		
10	招待状のご案内	招待状の準備・発送についてのご説明方法		
11	第4章 挙式	キリスト教式		
12		神前式		

回	テ ー マ	内 容
13		人前式・仏前式
14	挙式進行のご案内	挙式進行のご説明方法
15	第5章打ち合わせ業務	打合せの内容と時期
16～ 17		打合せ業務
18～ 19		打合せロープレ
20	席次表・席札のご案内	席次表・席札の作成の仕方についてのご説明方法
21～ 22	ロールプレイング	挙式会場の案内
23	商品紹介～引出物・写真・映像・演出～	引出物・写真・映像・演出商品のご案内方法
24～ 25	ロールプレイング	披露宴会場の案内
26	挙式後セレモニーのご案内	挙式後セレモニーのご説明方法
27	グループワーク	ブライダルフェアのプランニング
28		発表
29	披露宴進行のご案内	披露宴進行のご説明方法
30	テーマプランニング（ビジュアル）	ビジュアルテーマの考え方・提案の仕方
31～ 32	自分のしたい結婚式を考える	学んだ内容から、自分のオリジナルウエディングを考える
33～ 34	自分のしたい結婚式 ～プレゼンテーション～	オリジナルウエディングのプレゼンテーションを行う
35	コーディネーター業務	新規業務・営業
36～ 38	ロープレ	パターン接客練習
39	前期復習	前期の復習

回	テ ー マ	内 容		
40	期末テスト	期末テスト		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ブライダルコーディネーターテキスト（スタンダード）	出席率 課題・レポート 実習・実技評価 期末試験	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル実務Ⅱ		ブライダル学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	5単位(80時間)	必須	神内 朋子

授業の概要

- ・ブライダルビジネスにおいて、お客様のニーズを汲み取り、各種分業の壁を越えて幅広いコーディネートをし、お客様にあったブライダルサービス・商品等を提供することができるようになる。
- ・ブライダルコーディネート技能検定の合格を目指す。

授業終了時の到達目標

- ・挙式、披露宴に関するあらゆる業種を含む幅広い知識を身につける。
- ・式を円滑に運営するオペレーション知識を身につける。
- ・ブライダルコーディネート技能検定3級合格

実務経験有無

実務経験内容

有

神内朋子：コスチュームアドバイザーとして3年、ブライダルプランナーとして式場で6年の経験あり。企画や、数多くの婚礼を手掛けてきた。国家検定の試験官も務めており、これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	ブライダルコーディネーターとは L1結婚とは	ブライダルコーディネーターとは 結婚の定義
2		日本の結婚式 欧米の結婚式
3	L2ブライダルビジネス	市場・業種・関連業種
4		エリア特性
5	グループワーク	エリアの特性を調べ、まとめる
6		発表
7	L3ブライダルの基礎	見合いと婚約 結納
8~ 9	L4コーディネーター業務 L5打合せ業務	成約業務
10	L6コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	衣装選定 フラワー
11		ヘアメイク テーブルコーディネート
12	L7手配業務	手配業務のものと流れ
13	L8当日業務	コーディネーター業務 アテンド業務
14		テーブルセッティング サービス業務
15~ 16	検定対策	過去問(AWP)で復習

回	テ ー マ	内 容		
17~ 18		過去問（ABC）		
19~ 20	グループワーク	ブライダルフェアの企画		
21		発表		
22	ロープレ	新規接客		
23~ 24		案内接客		
25~ 27		打合せ接客		
28	検定対策	過去問（筆記）		
29		小テスト		
30		過去問（筆記）		
31		中テスト		
32		過去問（筆記）		
33~ 35		過去問（実技）		
36~ 37		過去問抜粋テスト		
38	復習	検定の復習		
39~ 40	検定	ブライダルコーディネーター技能検定		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		確認テスト	50.0%	
		実習・実技評価	40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルプランニングⅡ		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(80時間)	必須	神内朋子
ブライダルコーディネーター、衣裳コーディネーターなどの仕事を疑似体験し、ブライダルに関わる仕事を理解する。また、グループで協力し、各個人が達成感を得られるようにする。				
授業終了時の到達目標				
1. 協力し、意見交換をおこなえる。 2. 各担当の仕事を責任もっておこなえる。 3. ブライダルショーの成功				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ブライダルショーについて	1) 動機づけ・ブライダルショーの概要説明 2) 役割発表とグループ分け		
2	ブライダルショー企画準備	3) グループごとに企画の話し合い 4) 企画書作成準備		
3	ブライダルショー企画準備	5) 企画書作成 6) 会場への質問事項		
4	ブライダルショー会場見学	会場見学		
5	ブライダルショー企画作成	7) 企画完成		
6	ブライダルショー準備	8) 準備計画、予算立て		
7	ブライダルショー準備	9) 担当ごとに買い出し		
8~ 26	ブライダルショー準備	10) 担当ごとに準備		
27~ 31	リハーサル	30) テクノホールでリハーサル		
32	リハーサル	35) 会場でリハーサル		
33	作成物	36) 準備物再調整		
34~ 36	リハーサル	37) テクノホールでリハーサル		
37~ 38	リハーサル	会場リハーサル		

回	テーマ	内 容		
39～ 40	ブライダルショー本番	本番		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	【準備学習】 次の回の作業がす ぐに出来るよう、 買い出しなどを分 担して行ったお く。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
着付応用		ブライダル学科/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	笠無 里奈
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・1年時に学んだ着物の知識をより実践的に深める。 ・浴衣、訪問着の着付を習得する。 ・訪問着の着付け、二重太鼓、変わり結び 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・着付け基礎の確認、習得。より綺麗な着せ付けができるようになる。 ・自分で訪問着が着れるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として20年の勤務経験。これまでの美容実績を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	着付け基礎の確認	浴衣着付けの確認		
3~5	浴衣を着る	背中心、着丈、おはしおりの始末を学ぶ。 1年生の時の復習		
6~8	帯のアレンジ	帯結びを学ぶ。(方花文庫や矢の字結びなど)		
9~11	浴衣を着せる	相モデルで浴衣を着せる		
12~14	訪問着基礎の確認	小物、補正、長襦袢、着物の知識		
15	期末試験(浴衣の着せつけ)	浴衣着付け(相モデル)実技審査		
16	補正・小物の名前	小物の名前、使う位置		
17	補正の位置	補正の作り方、入れる位置		
18	肌襦袢	肌襦袢の着方		
19	長襦袢	長襦袢の着方		
20	訪問着を着る	補正		
21~22		補正、衣紋抜き、斜め上げ、長さの調整		
23	訪問着	訪問着の仕上げ		
24	帯の結び方	お太鼓、三十紐の使い方		
25		帯揚げ、帯締め、始末		

回	テ ー マ	内 容		
26	小テスト	小テスト		
27～ 28	変わり結び	変わり結びの仕方		
29	期末試験	期末試験		
30	復習、片付け	復習、片付け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	20.0%	
		実習・実技評価	40.0%	
		確認テスト	20.0%	
		期末試験	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
フラワーアレンジメント		ブライダル学科/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	35回	2単位(70時間)	必須	神高 恵

授業の概要

ウェディングフラワーの基礎知識を習得

授業終了時の到達目標

ウェディングフラワーの製作、提案などの幅広い知識を習得

実務経験有無	実務経験内容
有	フラワーコーディネーターとして、20年の勤務経験。これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	ウェディング装花とは	ウェディングフラワーの種類など
2	挙式スタイルと装花	ウェディング装花の基礎知識
3	ブライダルの色彩1トレンドカラー	フラワーカラーコーディネート知識
4	ブライダルの色彩2テーマカラー	フラワーカラーコーディネート知識
5	季節に合わせたフラワーアレンジメント	summer グリーンアレンジメント(造花) リース
6	テーマカラーフラワーアレンジメント	白、グリーンの季節のお花を使用(生花) ラウンドタイプ
7	サムシングブルー小物作成	リストコサージュ製作(造花)
8	ブーケ、ブートニアセレモニーのお花	セレモニーフラワーの知識など
9	トス、プルズブーケ製作	クラッチタイプのミニブーケ(生花)
10	ブートニア製作	ブートニア(生花)
11	参列者のコサージュ製作	コサージュ作成(プリザーブドフラワー)
12	ヘッドコサージュ製作	1ポイントタイプ(造花)
13	ヘッドコサージュ製作	カチューシャタイプ(造花)
14	ヘッドコサージュ製作	花冠製作(造花)
15	前期筆記と実技試験	ブートニア(生花)作成

回	テーマ	内容		
16	ご贈呈用花束製作	花束製作（生花）ラッピング		
17	チャペル装花 式台アレンジメント	式台アレンジメント作成（生花）		
18	ブライダル装花カウンセリングについて	打ち合わせの知識		
19	ドレスとブーケの相性	ドレスのデザインに合わせてブーケ選び		
20	ブーケ1	ラウンドブーケ製作（生花）		
21	ブーケ2	キャスケードブーケ（生花）		
22	ブーケ3	バックブーケ（造花）		
23	ブーケ4	和装ボールブーケ（造花）		
24	会場装花1 ゲストテーブル装花1	ラウンドタイプ作成		
25	会場装花1 ゲストテーブル装花2	クラッチタイプ作成		
26	会場装花1 ゲストテーブル装花3	リースタイプ作成		
27	会場装花4 メインテーブル装花1	高砂席アレンジメント		
28	会場装花4 メインテーブル装花2	高砂席アレンジメント		
29	会場装花4 ケーキ前装飾	ケーキ前装花製作（造花）ナイフコサージュ作成（造花）		
30	会場装花4 小物アイテム製作	グラスコサージュ、トーションフラワー作成（ドライフラワー）		
31	ウェルカムスペース小物製作	ウェルカムボード製作		
32	チェリッシュウェディング準備	チェリッシュウェディング花材準備		
33	トータルコーディネート1	グループ製作オリジナルブーケ（生花）		
34	トータルコーディネート2	グループ製作会場装花（生花）		
35	期末試験	筆記と実技試験ラウンドブーケ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	10.0%	
		課題・レポート	40.0%	
		実習・実技評価	50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルヘアメイク応用		ブライダル学科/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	辻田 乃里香
授業の概要				
ブライダルシーンにおけるメイキャップやヘアアレンジの取得、応用				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・華やかかつ自然なベース作りが出来る ・グラデーションが美しく出来る ・お客様の骨格、お肌のコンプレックスをカバーできる ・夜会巻きのアレンジが出来る ・それぞれのタイプに合わせたヘアアレンジが出来る ・お色直しの事を考えヘアアレンジが出来る・お客様のドレス、イメージに合わせたメイキャップが出来る 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として21年の勤務経験。これまでの美容実績を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	メイクのポイント応用	シーンにおけるファンデーションの塗布のポイント。お顔の立体感を強調するハイライト。		
2		ベースメイク		
3		目の形に合わせたアイシャドウの入れ方。グラデーションの入れ方。ステップアップテクニック。		
4		アイラインの種類と使い方。ステップアップテクニック。		
5		マスカラバリエーション。つけまつ毛の付け方。		
6		アイブローの描き方。眉の整え方。		
7		ベース→アイメイク→眉(モデルさんに合った)		
8		チークの入れ方と印象。		
9		ベース→アイメイク→眉→チーク		
10		リップラインの種類と印象		
11~12	フルメイク1	目元をパッチリとした可愛い印象のフルメイク		
13~14	フルメイク2	ボリューム感のある目元の大人メイク		
15	期末テスト	テスト課題「お客様のお顔立ちに合わせたメイキャップ」		

回	テ ー マ	内 容		
16~ 17	ダウンスタイル	ダウンスタイルの応用		
18~ 19	ハーフアップスタイル	ハーフアップの応用		
20	マーメイドスタイル	マーメイドスタイルの基礎		
21		マーメイドスタイルの応用		
22~ 23	チェリッシュウエディングヘア	チェリッシュウエディングのヘア練習		
24~ 25	夜会巻き	夜会巻きの基礎		
26~ 27	チェリッシュウエディングのヘア	チェリッシュウエディングのカクテル用ヘア		
28	夜会巻き	夜会巻きの応用		
29	期末試験の練習	期末試験のヘア練習		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「MICHIKO FUJIWARA パーフェクトメイク &ヘアバイブル」 幸せのブライダル ヘア		出席率 実習・実技評価 期末試験	10.0% 40.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		ブライダル学科/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	1単位(50時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の基本的ルールを再確認する ・実際に就職試験を受験する際の受験対策(面接・筆記) ・希望する企業に内定するためのノウハウを学ぶ ・添え状、お礼状の書き方、企業へのメールの仕方などを学ぶ ・就職してから必要な電話対応を学ぶ 				
授業終了時の到達目標				
希望企業が求める人材に近づき、入社後様々なことに対応できる人間力を磨く。 就職後に困らないために、電話対応に限らずマナーとして最低限のことは理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	就職活動スケジュール	個々のスケジュール確認と今後の動き		
2~4	試験準備	面接試験対策 履歴書作成		
5~7	試験対策	個人面接練習		
8	お礼状と入社までのスケジュール	お礼状の書き方 入社までのスケジュール確認		
9	メール対応	企業からのメールの返信方法		
10	他社企業	他社企業の情報と比較		
11	就職活動の動き	動きのまとめ		
12	1年生との座談会	就職に関する座談会		
13~15	社会人の基礎知識	新入社員のマナー		
16~17	電話対応のビジネスマナー	基本の電話の受け方、電話に出る前の準備・出方・担当者不在の場合の対応		
18~19	電話対応のビジネスマナー	困った時の電話対応 電話の切り方		
20	電話対応のビジネスマナー	電話対応に欠かせない伝言メモの書き方		
21	電話対応のビジネスマナー	よく使用する敬語 間違いやすい言葉		
22~24	よくわかる伝え方・話し方	社会に出て上司に報告する際の伝え方・話し方について		

回	テ ー マ	内 容		
25	まとめ	後期復習		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 20.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パソコン演習応用		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	武田 雅恵
授業の概要				
既に履修のWordExcelの基本操作を復習し、実務に即した技術を身につけるための問題演習を行う				
授業終了時の到達目標				
報告書や集計表などが作成できるように演習問題を解く、また、課題として、テーマを決めて報告書または表などを作成することができるようになること。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		事務職として9年10カ月、パソコン講師15年。 Wordを使い、実務に即した技術を身に付けるため、問題演習を行いながらパソコンの操作に慣れる授業を行う。これまでの経験を活かし、学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	Word Lesson7・51	行事予定表の作成		
2~ 4	Lesson10・25・33・41・57	メンバー募集の作成		
5~ 6	Lesson12・42・60	記念プラン詳細表の作成		
7	Excel Lesson10・32	スケジュール表		
8~ 9	Lesson11・30・44	模擬試験成績表の作成		
10~ 11	Lesson13・34・37・40	アルバイト勤務表の作成		
12~ 13	Lesson15・29・39・65	納品書の作成		
14~ 15	課題			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダルコスチューム応用		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	福山 実希
授業の概要				
スタイリストに必要な実践的な技術を学び、お客様のらしさをくみ取ったスタイリングの提案ができるようになる。				
授業終了時の到達目標				
カウンセリングからフィッティングまでの接客ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	衣裳店で6年間の実務経験があり、現在もお店の中心スタイリストとして活躍している。経験を活かし、学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	1年次の復習(洋装)	座学復習		
2	1年次の復習(和装)	座学復習		
3	フィッティングの復習(洋装)	実務復習		
4	フィッティングの復習(和装)	実務復習		
5	ロールプレイング	カウンセリング		
6		衣裳の提案		
7~ 8		フィッティング		
9~ 10	試験(実務)	ペアになりカウンセリング~フィッティングの実務試験		
11~ 12	トータルコーディネート	ペルソナを設定し 新郎新婦・式場・衣裳・髪型・ブーケを一枚にまとめる		
13~ 14	衣裳店見学	店舗見学		
15	トータルコーディネート(発表・提出)	提出し発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実務 期末試験 トータルコーディネート	10.0% 20.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
写真・映像知識		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	石床 タケル
授業の概要				
写真・映像の撮影技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ブライダル学科のプロモーション映像を作成する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		G-WORKSのブライダルマネージャーとして、写真映像撮影・編集・企画を12年行っている。経験を活かし、学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
好きな映像見て欲しい				
回	テーマ	内容		
1	自己紹介とこれから学ぶ事	簡単なアンケートと映像制作の基本について		
2	好きなお菓子のPRをしよう	各自好きなお菓子のプロモーションをするための撮影をする		
3	スマホで上手く撮る方法	iPhoneで撮影する時のテクニック		
4	撮影をする前にコンセプトとテーマを決めよう	ペアで映像を作る事を計画立てていく		
5	絵コンテを作成してみよう	どんな映像にするのかを具体的に決めていく		
6	ロケハンと撮影スケジュールを作ろう	撮影リハーサルを兼ねて、撮影場所等を各自決める		
7	実際に撮影してみよう	実際に撮影をする		
8	編集した映像を見て反省してみよう	編集した映像を皆で見て振り返る		
9	穴吹のプロモーション映像を作ろう	学校のPVを作るチームを作り準備する		
10	穴吹のプロモーション映像を作ろう	学校のPVを作るチームを作り準備する		
11	各チームで撮影してみよう	実際に撮影する		
12	各チームで撮影してみよう	実際に撮影する		
13	映像作品発表会	作品を鑑賞しながら、今までを振り返る		
14	課外授業	カメラのマニュアルモードを使って撮影する		

回	テ ー マ	内 容		
15	課外授業	カメラのマニュアルモードを使って撮影する		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 実習評価	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホスピタリティマインド		ブライダル学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	堀内 彰仁
授業の概要				
ブライダル・ホテル業界だけに限らず、業務やサービスではなく人にしかできないホスピタリティの大切さを学ぶ。また、社会生活のあらゆる場面で必要な「気づきの心・考え方・姿勢」など社会人の基礎力が増し、視野を広めることができる。				
授業終了時の到達目標				
1. ホスピタリティ論を学び、ホスピタリティとサービスを区別し、意義・役割を明確にできる。 2. 様々な分野でのホスピタリティ対応を知り、自らの行動に直結させる。 3. グループワークや、ディスカッションの中で、他人の意見の尊重・自分の意見を発言できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ホスピタリティって ホスピタリティの歴史と文化	ホスピタリティをどのように考えている？ ホスピタリティの起源と文化		
2	ホスピタリティ文化	西洋、ゲルト族、ゲルマン民族、中国のホスピタリティ文化と日本のおもてなし文化		
3	グループ討論	TDLとホスピタリティとは？		
4	サービスとホスピタリティ	ホスピタリティの定義 サービスとホスピタリティの違い		
5	サービスとホスピタリティ	分類ワーク まとめ		
6	グループ討論	ホスピタリティ対応		
7	ホスピタリティの5領域	個人と個人、個人と地域社会、組織と顧客のホスピタリティ		
8	ホスピタリティの5領域	組織と従業員、組織と地域社会のホスピタリティ		
9	各産業におけるホスピタリティの実践	宿泊、小売り、外食、医療、美容業		
10	グループ討論	身近な各産業のホスピタリティとは？		
11	マナーもホスピタリティ	マナーからみたホスピタリティ		
12	サービスを超越する瞬間	ザ・リッツカールトン・ホテル、そごう横浜店コンシェルジュの事例から感動を生み出すサービスを学ぶ		
13	サービスを超越する瞬間	ソニー生命保険(株)ファイナンシャルプランナー、(財)心臓血管研究所スーパーバイザーの事例から学ぶ		
14	サービスを超越する瞬間	(株)HUGE(飲食・レストラン)、ノンフィクションライターの事例から学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
15	課題・レポート	課題・レポート		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ホスピタリティ・コーディネート ディズニーのホスピタリティ サービスを超越する瞬間	出席率 実習・実技評価 課題・レポート	10.0% 50.0% 40.0%	【準備学習】 サービス業で必要 不可欠な「おもて なし」について、 意識を高めてお く。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ホテル概論・HRS基礎Ⅱ		ブライダル学科/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	堀内 彰仁
授業の概要				
顧客に対して、マニュアルだけのサービスだけではなく、要望や期待を汲み取り、お客様の立場で考えられるホスピタリティの心を養う。				
授業終了時の到達目標				
料飲サービスに必要な基本的な知識を習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ホテルスタッフとして6年勤務。ホテルスタッフの経験を活かし学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	食材・飲料の基礎知識 食材について	6つの基礎食品・食品の分類別特徴 スープ・肉類について		
2	パスタ・チーズ	パスタの種類 三大ブルーチーズ・三大珍味について		
3	魚の調理法 デザート	魚の調理方法 代表的なデザートについて		
4	飲料の種類と特徴	ワイン分類・ブドウ品種について		
5	フランス6大ワイン産地	各国ワインの特徴		
6	スピリッツについて	コニャック・ウイスキーの特徴		
7	コーヒー・紅茶	コーヒー産地 紅茶・ミネラルウォーターの種類		
8	宴会サービス	身だしなみ・表情・言葉遣い 宴会の種類・リネンについて		
9	レストラン各種のサービス方法 レストランスタッフと任務	受付・控室・宴会内容に応じたセッティング 料飲サービススタッフの役割・呼称		
10	伝票処理	伝票の分類 注文品の確認		
11	食器類の片付け方法	下げ方・テーブル上での自己処理		
12	国際習慣 苦情対応と遺失物の取り扱い	プロトコール5原則 施設管理・消防用設備・苦情対応		
13	労働安全衛生	健康診断の必要性 労働者に関する規定		
14~ 15	HRS検定3級問題・復習	過去問 参考		
16	HRS検定(実技)	令和2年度実技について		

回	テ ー マ	内 容		
17~ 28	サービス実践・サービストレイ 実技テスト対策	HRS検定3級技術習得		
29~ 30	実技テスト	実技テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
西洋料理料飲接客サービス技法		出席率 実習・実技評価 期末試験	50.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル業界知識		ブライダル学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
ブライダル業界(ジュエリー、ホテル、映像、旅行、式場紹介)で働いていらっしゃる方から、業界の知識や接客方法などを教えていただく。将来、どのブライダル業界に就職してもお客様との会話が弾むように、知識を身につける。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエリー、ホテル、映像、旅行、式場紹介の基礎知識を知る。 ・プロの接客方法を伺い、トーク力をアップさせる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	業界知識	ウエディングプランナーの仕事の本質		
2		衣裳デザイナーの仕事・写真アングル		
3~ 4	ミニ動画の作成	人気の式場・ジュエリー・写真・装花・衣裳の動画を作成		
5		発表		
6~ 7	プロデュース会社	プロデュース会社の仕事とは(谷本様)		
8~ 9	ホテルの仕事	ホテル料飲・ワインの知識(高橋様)		
10	プランナー	ウエディングプランナー実話(佐々木様)		
11~ 13	ホテルの仕事	フロント業務・宿泊業務(山田様)		
14	海外ウエディング	海外ウエディングとは(吉田様)		
15	プランナー	ウエディングプランナー実話(久保田様)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 50.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル研究		ブライダル学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	80回	5単位(160時間)	必須	神内, 堀内
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の結婚式運営にあたり、お客様との打ち合わせから顧客のニーズに合ったサービスを提供すること、業者とのやりとりから責任の重さを実感し、一から結婚式を創り上げていく苦勞と結婚式で起こるアクシデントに対応できる力を身につける。また、チームワークの大切さを知ること、就職先でも他部署、業者との連携の重要性を知ることができる。 ・今までに学んだ知識を、実践できるようになる。 				
授業終了時の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. チームワークを大切にし、お互い協力しながら意見交換を行えるようにする。 2. 各打ち合わせがスムーズに行えるようにする。 3. 一人ひとりが与えられた仕事を責任持って行えるようにする。 4. 自ら提案し、お客様が求めていることを先読みして形にする努力ができるようになる。 5. 結婚式を成功させるための準備やリハーサルを細かく行うことができるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	お客様衣裳合わせ 打合せ準備	衣裳店で新婦の衣裳合わせ 1回目の打ち合わせ準備		
3~ 4	打合せ準備	打合せの資料作り		
5~ 6		資料作り続き 打合せ練習		
7~ 8	打合せ	打合せ 打合せのまとめ		
9~ 10	作成物	作成物		
11~ 12	作成物	作成物		
13~ 14	作成物	作成物		
15~ 16	作成物 ヘアメイク練習	作成物 ヘアメイク練習		
17~ 18	作成物	作成物		
19~ 20	作成物	作成物		
21~ 22	作成物	作成物		
23~ 24	打合せ練習	打合せ練習		
25~ 26	作成物	作成物		

回	テ ー マ	内 容
27～ 28	作成物	作成物
29～ 30	作成物	作成物
31～ 32	作成物	作成物
33～ 34	作成物	作成物
35～ 36	打合せ練習	打合せ練習
37～ 38	作成物	作成物
39～ 40	作成物	作成物
41～ 42	打合せ練習	打合せ練習
43～ 44	作成物	作成物
45～ 46	学校リハーサル	学校リハーサル
47～ 48	学校リハーサル	学校リハーサル
49～ 50	作成物	作成物
51～ 52	学校リハーサル	学校リハーサル
53～ 54	学校リハーサル	学校リハーサル
55～ 57	会場リハーサル	会場リハーサル
58～ 60	学校リハーサル	学校リハーサル
61～ 62	作成物	作成物
63～ 64	打合せ練習	打合せ練習
65～ 67	会場リハーサル	会場リハーサル
68～ 70	会場リハーサル	会場リハーサル
71～ 73	学校リハーサル	学校リハーサル
74～ 76	学校リハーサル	学校リハーサル
77～ 78	会場準備	会場準備

回	テ ー マ	内 容		
79～ 80	本番	本番		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	30.0% 70.0%	